

波紋

平成21年10月

No. 292

2009 Oct.

第17回 元気が出る森松展



【テーマ】

“Action”～動かなければ・・・変わらない!～

【開催日時】

平成21年10月15日(木) 9:00 ~ 17:00
16日(金) 9:00 ~ 17:00

【場所】

弊社 本社ビル5階
名古屋市南区丹後通5丁目18番地
TEL 052-612-8831 FAX 052-612-8885

講演会のご案内

10/15(木) 14:00~

「反応押出成形装置を用いた生分解繊維の開発研究」

講演者：田中 利幸（愛知県産業技術研究所 三河繊維技術センター）

10/15(木) 14:30~

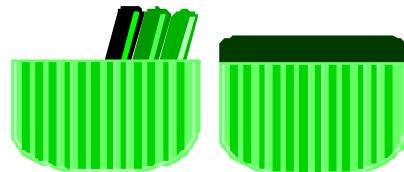
「カーボンナノチューブについて」

講演者：橋本 剛（名城ナノカーボン（株） 代表取締役社長）

10/16(金) 14:00~

「フタル酸系可塑剤の動向」

講演：アキレス株式会社



出展企業

(有)アイソニック・アキレス(株)・(株)アルボース・(有)エコデザイン・(株)エドカ工業
 (株)大石コーポレーション・オカモト(株)・(株)カツロン・金子商店・カンボウプラス(株)
 (株)コーハン・三協化成(株)・(株)三信ゴム商会・サンビック(株)・四川義信文化用品有限公司
 シーダム(株)・(株)ダイニック・(株)神光・(株)トーワ・(株)生産日本社
 積水成型工業(株)・大同紙工印刷(株)・(株)タツノ化学・(株)トラスト
 日本ウエーブロック(株)・(株)パッカマン・(株)プラスコーポレイション・丸喜化学工業(株)
 三菱樹脂(株)・山本ピニター・(株)菱興プラスチック(株)・ローヤル工業(株) (敬称略)

新規出展企業

「森松展、開幕です。」

社長 森直樹



さて、10月の森松の恒例、「元気が出る森松展」第17回を迎えて今年も開催します。本年度は新たに3社の入れ替わりがあり、昨年以上に賑やかな展示会になることを祈っております。今回のテーマは“Action”。

既存の市場の縮小には自ら行動し、新たな市場を切り開かねば現状打破できません。そんな意気込みを込めて今回の森松展を開催いたします。

今年で17回目と回を重ねておりますが、出展メーカー、出展内容ともに毎年少なからずの変化があります。かつては抗菌仕様、再生/リサイクル品、生分解性樹脂と、その時勢を反映した流行がありました。その年の傾向で市場が何を必要としているかのヒントが見えてくると思います。来場者の方々へは、出展メーカー担当者・弊社営業マンと商品について説明・質問等対応いたしますので、ぜひともこの機会に御来場頂き、新たな商機に繋がっていくことを期待しております。

また、出展者として参加頂く企業の皆様におかれましては、ご存じの通り、普段顔を合わせるものの少ない、同業種での情報交換の機会でもありません。どうか、二日間を有意義に過ごしていただければと思います。

それでは森松展会場でお待ちしております！
“Action”で新たな一手を創っていきましょ。

「片足250gのイチローのシューズに

驚いた君に贈る」

牧野 光昌(企画営業部)



メジャーリーグで【9年連続200本安打】という大記録を達成したイチロー選手がインタビュで「日々積み重ねていくプロセスが大事。プロセスを大切にしたらから、その結果が記録として残せる。」と言っていた。仕事が進まないのは「本人のやる気」の問題だと言う人がいますね。「やる気」だけで何事もうまくいくのであれば、野球界はイチローだらけになるはずだ。みんな野球が好きで、素質もあつて、やる気の無い選手はいないはずだ。でもそうならないのは「やり方」なんだろうと思う。プロ野球選手の場合は、個々の努力と自己管理責任が大きいから、「やり方」の差が結果に大きく関わってくるだろう。

しかし、企業にあつては、ひとりで「やり方」を変えてもらつては困ってしまうので、組織的なプロセス管理をしないとけない。イチローは「変わつてはいけない普遍的な事」と「進化していかなければいけない改善点」をしっかりと把握し、確実に区別し、適確に自分に取り入れている。あのシューズもどんどん変化している。しかし組織となると何事にも反対論を掲げる人が居て、小さな改善を進めていくのも簡単ではない。何度も議論して、過去の常識は未来の常識にならないと、充分納得しあつたのに、いざプロセス改善をしようとすると、あと一歩の所で「しがらみ」という壁にぶち当たってしまう。「しがらみ」は人の居ない所には存在しないから、それを取り込む人が居る事は間違いない。「しがらみ」は年功だったり、情とか義理とかいう個人的なものだったり、いろいろである。人間は病気になる。ウイルスを殺す毒薬なのだから副作用もある。それでも病気を治す為に飲む。「しがらみ」は企業にとってはウイルスである。そして常に新型へと変化する。だから企業は常にワクチンを改良し、飲み続けなければ、生きられないのだ。人も企業もイチローのシューズのように常に進化しなければ、良い結果は続かないのだろう。

甲冑製作教室

岩間 正美（製造部）



4月27日から1回2時間、月2回で約半年間11回の甲冑製作教室を土田さんと二人で受講しています。今回の受講者は13名で先生が6名、小グループに分かれて教えてもらいます。私と土田さんは同じグループで、土田さんは大人用、私は孫のために子供用を作ることになり、先生はベテランの方が付いてくれました。教室もすでに10回を終え、甲冑は無事完成し、後は甲冑を飾る台座を仕上げれば全て終了となります。

第1回目の教室に出席したときに、延べ200時間を要するため約180時間は宿題であると説明されました。毎週約10時間の宿題です。仕事を終えて帰宅後に2、3時間作業を行ったり、休日は何日も潰しながら遅れることなく製作してきましたが大変でした。

甲冑は、ダンボール紙と布、紐で殆ど出来ています。型紙をもらい、ダンボールをカット、布を貼り、幾重にもペンキを塗ってニスで仕上げているんです。各パーツが出来上がったら紐で繋ぎ完成となります。納得がいかない部分は何度もやり直しをしていますので、所要時間は300時間近いと思います。

インターネットで甲冑製作を検索すると多数ヒットします。京都、滋賀、神奈川、名古屋などあちろちろに教室があるようです。素材や作り方もいろいろあり、費用もピンキりのようです。私たちの製作費用は、受講料18,000円でダンボール、布、紐、ペンキなど殆どの材料はいただけなのですが、甲冑を飾る台座の材料や道具、その他諸々は自分たちで購入が必要となり受講料と合わせ総額3万円ほどで作ることができました。

興味のある方は受講されてはいかがでしょう。



「食べる」

解 昆（製造部）



気の合う仲間が集まって会話をしながら食事をするのは楽しいものである。ある時こんな出来事があった。仲間で料理の準備をしている時、一人がトマトの皮を剥いてお皿に並べ始めた。するとそれを見た人が「あなたトマトの皮は剥かないものよ」と指摘する。そう言いながら、その人は包丁を片手にキュウリの皮を剥き始めると「あら、私の家ではキュウリの皮は剥かないわ」と、トマトの皮を剥いた人が逆に指摘しました。それからしばらく、「皮の剥く、剥かない」とどちらが「正しい、正しくない」と、みんなが意見を言い始め料理の手はすっかり止まってしまった。結局「こんな些細な事でも色々違うもの」で、この騒ぎは終わった。

自分の今までやってきた食べ方や料理の仕方が違えば、少し可笑しいと感じるのは当たり前な事だが、その理由をよく考えてみると、ただ慣れていないだけというケースが多い。最初は変な食べ物だと思っても口にしたら想像以上に美味しいと感じる事もよくある。世界中を旅している人に、どの様にすればその土地の人と知り合いになれるのかと聞いてみると、「片言でもいいから、その人たちの言葉を話し、おながが一杯になるまで一緒に食べて、飲むことだ」と、返ってきた。世界が広いからこそ、トマトの皮を剥く人も剥かない人もいる。皮がついているかいないかは問題ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで飲んで、食べて、一緒に笑う事が大切だ。そうすれば特別な努力がなくても、良い友達ができるという事なのだろう。



10月の予定

3日(土) 第一土曜日休み

(休業実施日)

10日(土) 第二土曜日休み

12日(月) 体育の日

15日(木)

第17回元気が出る森松展

16日(金)

弊社本社ビル5階
(9時00分～17時00分)

17日(土) 第三土曜日休み

24日(土) 加藤雅昭さん誕生日

第四土曜日休み

26日(月) 生産会議

12時00分～12時50分

CS向上会議

14時00分～15時00分

経営会議

15時30分～16時30分

31日(土) 第五土曜日休み

(休業実施日)



「アルコール手指消毒剤」

長崎 修 (特販部)



先日、実家(岐阜)に家業のお手伝いを兼ねて帰った際に、近くの選挙事務所(市議員選挙)に顔を出しました。選挙権は無いのですが、知っている人が出る為、応援に。入り口には、貼り紙にて『新型コロナウイルス対策』として消毒液が設置されていました。選挙事務所「年配の方々の集会所になっっている為、集団感染が生じたらという不安から設置されています。ただ、弊社で取り扱っていない消毒剤。購入された方が「やっと思つたの。見つけるのが大変だったよ。」と使用される方々にアピールされていました。私も使用したのでその人に「あそこの店が無くて、大垣のショッピングセンターに行っても無くて、ホームセンターめぐりをしやっと思つた」と説明を授与いただき。その後、地元の国会議員の先生が応援にこられて、選挙の報告を兼ねて皆さんと握手を交わされていました。

ふと車内を覗いて見ると弊社取扱商品(1リットルタイプ)のアルコール手指消毒剤を発見。その直後先生と握手を行い、「新型コロナウイルス対策ですか」と問い合わせた所「そうです」と。携帯のものがあれば良かったのですが、準備された物が1リットルタイプのもので、持ち運びが・・・と。特にうちの子が生れたばかりだから気を使います。と照れ笑いながら言われる。今は、いたるところで消毒剤が設置されています。ただ、弊社取り扱いの商品を見ると今以上に使用してしまっています。早くなくなってくれたらという気持ではなく、取扱っている商品があると嬉しくなり、余分に使用してしまします。適度適量に注意しましょう。皆さん、新型コロナウイルス対策は万全ですか。